

# 長岡京市第三期環境基本計画の概要

## 第1章 長岡京市環境基本計画の基本的事項

- 1 計画の位置付け・期間・各期計画の成果イメージ
  - ・温暖化対策推進法に基づく温暖化対策実行計画を兼ねる
  - ・気候変動適応法に基づく地域気候変動適応計画を兼ねる
  - ・令和4年4月から令和12年度末までの9年間の計画
  - ・初期期としての一期計画（H13～）、発展期としての二期計画（H25～）に続く成熟期としての計画
- 2 環境の範囲（地球環境・自然環境・地域環境・左記に関する建物環境及び人の活動）
- 3 環境面からめざすべき将来都市像  
「つむぎ織りなす“環境の都”長岡京」
- 4 持続可能なまちづくりの基本理念
  - ①全ての施策・行動を持続可能性に基づいて策定し、総合化します。
  - ②環境と地域経済・雇用・生活の質の改善を両立させます。
  - ③地域に固有の自然と文化を大切に守り、育てます。
  - ④社会的公正に配慮し、全ての人々と資源と環境を分かち合います。
  - ⑤資源・エネルギーが循環する地域をつくりまします。
  - ⑥みんなが参加して、一緒に計画をつくり、実践し、継続的な活動を目指します。
  - ⑦持続可能な社会を実現するための教育、人づくり・人結びに力を注ぎます。
- 5 “環境の都”長岡京市環境都市宣言

## 第2章 環境を取り巻く国内外の動向と気候変動の現状・今後

- 1 環境を取り巻く国内外の動向
  - (1)公害をはじめとする環境問題の変遷
  - (2)東日本大震災を契機とするエネルギー政策の転換
  - (3)電力小売全面自由化 (4)パリ協定
  - (5)国民運動「COOL CHOICE」 (6)気候変動適応法の施行
  - (7)海洋プラスチック問題の顕在化
  - (8)生物多様性 (9)グリーンインフラ
  - (10)持続可能な開発目標（SDGs）
  - (11)国の第五次環境基本計画
  - (12)新型コロナウイルスの流行
- 2 気候変動の現状・今後
  - (1)気候変動とは (2)気候変動の原因
  - (3)既に出始めている気候変動の影響
  - (4)世界の平均気温の上昇と将来予測
  - (5)日本の二酸化炭素排出量の推移
  - (6)温室効果ガス排出削減に向けた国内の動き
  - (7)長岡京市の温室効果ガス排出量の現況
  - (8)削減目標 (9)気候変動の「緩和」と「適応」
  - (10)気候変動の影響予測と優先的課題

新たな環境課題に対応する必要性

2050年ゼロカーボン表明

## 第3章 長岡京市の環境づくりの取り組みと課題 1 これまでの成果 … 主要指標については概ね達成見込み 2 取り組みの現状と課題 … 三期計画への申し送り

## 第4章 基本施策 2050年ゼロカーボンを念頭に！（本計画終期は2030（令和12）年度末）

1 気候変動対策（緩和・適応）	2 資源循環	3 環境共生	4 都市環境
<b>主要</b> 市域における温室効果ガス排出量 2013年度比46%以上削減 <b>サブ</b> 戸建住宅に占める太陽光発電設備導入率13.1% <指標>	<b>主要</b> 1人1日あたり収集ごみ量（資源ごみ除く）419g以下 <b>サブ</b> 一般廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量7,928t-CO <sub>2</sub> 以下 <指標>	<b>主要</b> 森林整備による西山の森林のCO <sub>2</sub> 吸収量1,667t-CO <sub>2</sub> 以上 <b>サブ</b> 西山における植物調査で確認できる種の数の維持 <指標>	<b>主要</b> 住民1人あたりの公園面積の増加 <b>サブ</b> みどりのサポーターによって管理されている緑地の数の維持 <指標>
<b>(1) 再生可能エネルギーの普及</b> ①家庭、事業者等への再生可能エネルギーの導入 ②公共空間における再生可能エネルギーの導入 ③自立・分散型エネルギーの地域づくり ④未利用エネルギーの活用検討	<b>(1) 廃棄物の発生抑制</b> ①食品ロス・プラごみの削減 ②ごみ減量につながる広報活動等の展開 ③廃棄物減量等推進員の活動促進	<b>(1) 西山をシンボルとする自然環境の保全・再生・活用</b> ①西山の森林整備 ②生物多様性の保全 ③西山の有効活用 ④森林組合の育成	<b>(1) 身近な緑の保全・創出</b> ①まちなかの緑の創出 ②公園緑地の整備・維持管理 ③緑の協会と連携した緑化の推進
<b>(2) 省エネルギーの推進</b> ①エネルギー効率の改善 ②省エネ型ライフスタイルへの転換促進	<b>(2) 再生利用・資源回収の推進</b> ①分別収集の促進 ②市民が主体となった資源回収の支援 ③再資源化領域の拡大	<b>(2) 竹林の保全・再生・活用</b> ①竹林の整備 ②竹の持続可能な利活用に向けた調査研究	<b>(2) 環境に配慮した都市空間整備</b> ①環境配慮型の都市基盤整備 ②歩きやすい道路空間整備 ③個性ある景観の保全・形成 ④グリーンインフラの活用
<b>(3) エコ建築の普及</b> ①エネルギー効率が高く環境に配慮した公共建築物等の整備 ②ゼロエネルギー建築物等のエコ建築の普及促進	<b>(3) 廃棄物の適正処理</b> ①一般廃棄物等の収集・適正処分 ②粗大ごみ等の収集・適正処分 ③災害時等の廃棄物処理体制の強化	<b>(3) 環境にやさしい農業の推進</b> ①低化学肥料農業等の推進 ②市民農園の充実 ③地産地消の推進 ④農地の保全	<b>(3) 歴史文化資源の保存・活用</b> ①歴史文化資源の保存・活用 ②まちなか博物館ネットワークの整備
<b>(4) エコ交通システムの導入</b> ①公共交通利用の促進 ②次世代自動車等の普及促進 ③自動車の排出ガスの抑制 ④自転車利用の促進	<b>(4) 水資源の有効活用・水環境の整備</b> ①水を大切にするライフスタイルの普及啓発 ②将来に渡り安全で安定した水環境の維持	<b>(4) 水辺環境の保全・再生</b> ①河川・水路の維持管理 ②ホタルの保護と育成	<b>(4) 環境美化の推進・住みよい生活環境の維持</b> ①地域の清掃活動の促進 ②環境保全に係る啓発 ③空き家や空き地の適正管理の推進 ④環境調査の推進
<b>(5) 気候変動への適応推進</b> ①農業をはじめ気候変動に適応した事業等の継続支援 ②将来に渡り安全で安定した水資源の維持 ③移り変わる自然生態系の監視・保全と感染症・熱中症対策 ④災害に強く新しい気象環境に適応したまちと森づくり			

## 第5章 分野横断的視点及び施策 SDGsへの貢献（環境・経済・社会の統合的な向上）

1 脱炭素化に向けた持続可能なまちづくり	2 水と資源が循環するエコなまちづくり	3 環境共生型社会の形成	4 快適で安心な都市環境づくり
<b>ゼロカーボン社会を目指し、環境に優しく地域経済が循環するまち</b> ①環境ビジネスの創出・拡大と環境基金の有効活用 ②グリーンコンシューマー活動・エシカル消費・顔の見える消費の拡大			
<b>環境と調和のとれた新たな地域の魅力を創造するまち</b> ①みどりと歴史のまちづくり ②気候変動への適応と地域の魅力創造を両立するまちづくり			
<b>エコライフと暮らしやすさを両立するまち</b> ①COOL CHOICEの推進 ②ごみの出ない暮らし方の推進 ③コンパクトなまちづくりの推進			
<b>持続可能な未来を築く人が育ち・学び・人がつながる環境の都</b> ①中間支援組織と連携するなどした環境団体等の活動支援 ②環境学習の機会の提供 ③地域の中で環境を考える学び合いの機運の醸成			

**第6章 人結び・SDGsモデルプロジェクト** 高校生などの若い世代、事業者、自治会・校区コミュニティ等地縁団体、テーマ団体、中間支援組織、行政など、異なる立場が連携することにより、分野横断的課題の解決「SDGsへの貢献」を目指す象徴的なプロジェクト。既存の主体同士を課題や目的に応じて結び付け、多方面での協働グループの形成を促し、活動内容は積極的に情報発信を行うことで、市民の活動の「見える化」を行い、「市民→市民」への啓発を活性化し、環境問題の「自分ごと化」を促進。

## 第7章 計画の推進 1 計画の実行体制 … 市民・団体・事業者等とのパートナーシップ 2 計画の進捗管理 … 長岡京市生活環境審議会が担う

## 第8章 資料編

環境への貢献をした上で 経済・社会へも貢献



パートナーシップで 目標を達成しよう